

## 5. Riemann の曲率テンソル

$M$  を Riemann 多様体とし、Riemann 計量と両立する対称な接続 (Riemann 接続) が与えられているとする。Riemann-Christoffel 記号  $\Gamma_{ij}^k$  は Riemann 計量を用いて表される。

### Riemann の曲率テンソルの定義

曲率作用素  $R$  を用いて、Riemann の曲率テンソル  $R_{ijk}^\ell$  を

$$R\left(\frac{\partial}{\partial x^i}, \frac{\partial}{\partial x^j}\right) \frac{\partial}{\partial x^k} = \sum_{\ell} R_{ijk}^\ell \frac{\partial}{\partial x^\ell}$$

で定める。曲率形式との関係は

$$\Omega_k^\ell = \frac{1}{2} \sum R_{ijk}^\ell dx^i \wedge dx^j$$

である。

Riemann の曲率テンソルを Riemann-Christoffel 記号を用いて表すと

$$R_{ijk}^s = \frac{\partial}{\partial x^i} \Gamma_{jk}^s - \frac{\partial}{\partial x^j} \Gamma_{ik}^s + \sum_{\ell} (\Gamma_{jk}^\ell \Gamma_{i\ell}^s - \Gamma_{ik}^\ell \Gamma_{j\ell}^s)$$

となる。

### 平坦な多様体

すべての点で曲率テンソル  $R_{ijk}^\ell$  が 0 になる Riemann 多様体を平坦 (flat) であるという。ユークリッド計量を入れた  $\mathbf{R}^n$  は平坦である。 $n$  次元トーラスについて  $T^n$  自然な射影

$$\pi : \mathbf{R}^n \longrightarrow T^n$$

から導かれる局所ユークリッド計量を入れると  $T^n$  は平坦である。

## 曲率の対称性

$M$  上のベクトル場  $X, Y, Z, W$  について

$$R(X, Y, Z, W) = \langle R(X, Y)Z, W \rangle$$

とおく. 曲率は次のような対称性をもつ.

1. (Bianchi の等式)  $R(X, Y)Z + R(Y, Z)X + R(Z, X)Y = 0$
2.  $R(X, Y, Z, W) = -R(Y, X, Z, W)$
3.  $R(X, Y, Z, W) = -R(X, Y, W, Z)$
4.  $R(X, Y, Z, W) = R(Z, W, X, Y)$

曲率テンソルの記号を用いるとこれは次のように表される.

1.  $R_{ijk}^\ell + R_{jki}^\ell + R_{kij}^\ell = 0$
2.  $R_{ijkl} = -R_{jikl}$
3.  $R_{ijkl} = -R_{ijlk}$
4.  $R_{ijkl} = R_{klij}$

## 2次元の場合

2次元 Riemann 多様体については, 自明でない曲率テンソルは  $R_{1212}$  であり, Gauss 曲率  $\kappa$  との関係は

$$\kappa = -\frac{R_{1212}}{g_{11}g_{22} - g_{12}^2}$$

となることが知られている.

[訂正] 3. 双曲平面のところで零にならない Riemann-Christoffel 記号として

$$\Gamma_{11}^2 = \frac{1}{y}$$

を追加.